

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

|           |   |
|-----------|---|
| 1 施設名     | 仙台市障害者就労支援センター  |
| 2 指定管理者   | 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会  |
| 3 指定期間    | 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで   |
| 4 施設の利用状況 | <p>《利用者数》</p> <p>令和2年度：620人（前年度比 80.6%）<br/>令和元年度：769人（前年度比 102.1%）<br/>平成30年度：753人（前年度比 108.7%）</p> <p>《相談対応延べ件数》</p> <p>令和2年度：13,644件（前年度比 82%）<br/>令和元年度：16,536件（前年度比 71.6%）<br/>平成30年度：23,086件（前年度比 125.6%）</p>   |
|           | <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者・家族・支援者・企業等に対する総合相談窓口としての就労・雇用相談と支援</li> <li>・就労支援者とのネットワーク構築及び市民への障害理解啓発による職域拡大、情報提供</li> <li>・企業内見学・実習のコーディネートと就労後の定着支援</li> <li>・職場への職場適応援助者の派遣等による人的支援</li> </ul>                                |
| 5 収支の状況   | <p>《費用》</p> <p>（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 59,600千円 （59,802千円）</li> <li>・ その他市が負担した費用 千円 （ 千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 千円 （ 千円）</li> <li>・ その他収入 千円 （ 千円）</li> </ul> |
|           | <p>《実施状況》</p> <p>窓口アンケート（令和2年4月1日～令和3年3月31日実施。回答数56件）を実施し、職員の挨拶、言葉づかい、説明、身だしなみ、施設内の清潔さ、施設利用の印象の6項目について5段階評価で集計した。全項目336件中、「大変満足」と「満足」を合わせて312件（92.8%）という評価を得ました。また、頂いたご要望には速やかに対応しました。</p>  |

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野           | 所見   | 評価    |
|----------------|--|-------|
| I 総則           | 施設運営上の基本方針や事業概要等は所内で公開されており、周知が図られている。また、施設目的を達成するため、関係機関との連携を図り、相談支援、職場定着支援、企業開拓及び情報提供等が適切に実施されている。なお、相談支援の際には、相談者からの依頼に応じて手話通訳者の配置や筆談に対応できる体制を整備しているほか、情報提供にあたっては、広報誌にSPコードを付しているなど情報保障の観点も適切に取り入れている。 | 30/30 |
| II 施設の運営管理体制   | 短時間勤務の導入や職員間の業務進捗状況把握の工夫等、職員が働き続けやすい職場環境づくりを積極的に進めている。また、開館実績、指定管理料の執行状況、災害発生時の対応体制等についても適切に管理運営されている。そのほか、個人情報の保護に関する取組みについて、職員会議のみではなく法人内の研修を実施し、守秘義務等の周知徹底に取り組んでいる。                                   | 24/24 |
| III 施設・設備の維持管理 | 掲示物の管理も含めて室内は整理されており、利用者が快適に利用できるよう、環境づくりについて職員会議で共有されるなど、積極的に取り組まれている。また、設備、備品についても適切に維持管理されているほか、仙台市環境行動計画に基づいて、省エネやグリーン購入など、環境に配慮した取組みも適切になされている。   | 16/16 |

|                    |  |              |
|--------------------|--|--------------|
| <p>Ⅳ サービスの質の向上</p> | <p>職員全員が各自の研修計画を作成しており、サービスの質の向上につながるよう各種研修会に積極的に参加する体制を整えている。利用者への説明の際には、情報保障に配慮のうえ、パンフレットや説明資料を活用しながら、分かりやすく丁寧な説明を心がけている。また、機関紙、ホームページやメーリングリストを活用して、関係機関、利用者等への情報提供を積極的に行っており、利用促進を図っている。その他、苦情解決の仕組みを適切に整備しているほか、窓口アンケートや各講座時に独自のアンケートを実施し、利用者の意見の把握に努める等、サービスの質の向上のための取り組みが適切になされている。</p> | <p>28/28</p> |
| <p>Ⅴ 施設固有の基準</p>   | <p>障害者一人ひとりのニーズに応じた相談支援や、就労移行支援事業所等への支援ノウハウ向上のための支援、各種支援機関による就労支援ネットワークの構築、障害者や支援機関と企業とを結ぶ各種機会の創出、就労した障害者の職場定着に関する支援等、各種の取り組みについて前向きかつ適切に行われている。また、法定雇用率の引き上げを踏まえ、法定雇用率未達成企業を主たる対象とした障害者雇用促進セミナーの開催や企業同士の交流会を企画するなど、本市における法定雇用率の底上げに寄与する取り組みを行っている。</p>  | <p>17/17</p> |

### 三 評価総括

| <p>《指定管理者（社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）による自己評価》</p>   |  |
|---|--|
| <p>施設は指定管理に伴う設備・備品を適切に遂行するとともに、設置されている泉区役所庁舎の設備を適切に遂行しました。</p> <p>事業は障害者や企業等に対する総合相談窓口として、障害者620人の就労相談及び企業241社の雇用相談に応じました。過年度就職者も含めた141名に対して497回の定着支援を行いました。</p> <p>企業に対して障害者雇用の理解を啓発するため、企業個々のニーズに即した勉強会を実施し、12社で延べ14回、経営者や従業員251名に障害者雇用の無関心や偏見をなくし、企業の障害者雇用の動機付けを行いました。また、企業同士の意見交換会を行い、障害者雇用の促進を図りました。</p> <p>これまでの就労移行支援事業所等とのネットワークを生かし、小グループによる活動と書面による情報共有を行いました。具体的には、就労移行支援事業所におけるコロナ禍の影響を調査し、結果を共有しました。また、コロナ禍の影響を理由とする就労移行支援事業所の利用期間延長特例認定について、実情を調査し、結果を共有しました。</p> <p>障害者就労に関する様々な情報がわかるように整理し、より見やすいレイアウトにするためにホームページをリニューアルしました。また、より親しみやすく相談しやすいセンターとするため、愛称を公募し決定しました。</p> |  |

| <p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>  | <p>総合評価</p> |
|---|-------------|
| <p>令和2年度の管理運営について、全体としては適切・良好に行われていた。新型コロナウイルス感染拡大という外的要因により、当該センターの利用者数や相談件数等、多くの取組において昨年度の実績を下回る結果となったが、コロナ禍においても、昨年度の実績を上回る項目も一部認められた。</p> <p>特に、ニーズが高まっている職場定着支援に関しては、過年度就職者を含めた支援対象者数は昨年度より増加していることに加え、当該センターの支援による一般就労者の年度末時点の定着率は95%と依然として高い水準を保っている。</p> <p>その他、アンケート調査を実施し寄せられた意見を職員間で共有していることや、職員研修の実施、短時間勤務を導入する等の職場環境整備等、当該センターのサービスの質向上への取組も継続して実施されている。</p> | <p>S</p>    |

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| <p>特記事項</p>   |
|---|
| <p>入口に消毒薬を常備し不足の無いよう管理しました。また、窓口にはビニールカーテンを設置し、面談室・ミーティング室にはアクリル板を設置しました。使用後は都度消毒し、コロナウイルスの感染拡大防止に努めました。また、基本的に会社を訪問して行っていた職場定着支援は、オンラインでの面談体制を整備し、安心して相談できる相談体制を構築しました。企業からの勉強会の依頼にも、オンラインで対応できる体制を整え実施しました。</p> |

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害企画課